

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月28日

上場会社名 株式会社 家族亭

上場取引所 東

コード番号 9931 URL <http://www.kazokutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 入江 一晃

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 後藤 秀明

TEL 06-6227-6030

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	12,131	—	248	—	263	—	69	—
25年3月期第3四半期	12,152	—	366	—	367	—	100	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 69百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 98百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	9.94	—
25年3月期第3四半期	14.27	—

(注) 1. 平成25年3月期より決算期を12月31日から3月31日に変更しております。これに伴い、平成26年3月期第3四半期(4月から12月)と、比較対象となる平成25年3月期第3四半期(1月から9月)の月度が異なるため、平成26年3月期第3四半期の対前年四半期増減率については記載しておりません。
2. 平成25年3月期第3四半期の対前年四半期増減率については、平成23年12月期より連結財務諸表を作成しているため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	円 銭	
26年3月期第3四半期	9,993	—	3,370	—	33.7	479.10	—	
25年3月期	10,326	—	3,371	—	32.6	479.16	—	

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,368百万円 25年3月期 3,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,600	—	320	—	340	—	120	—	17.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期は決算期変更に伴い、15ヶ月の変則決算になっておりますので、対前期増減率及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	7,056,200 株	25年3月期	7,056,200 株
26年3月期3Q	25,355 株	25年3月期	25,355 株
26年3月期3Q	7,030,845 株	25年3月期3Q	7,030,863 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2 . サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日）のわが国経済は、政府・日銀一体となった金融緩和政策や経済対策により、個人消費や企業業績の一部に持ち直しの動きが見られるなど景気回復への明るい兆しが見え始めましたが、外食産業においては、円安等による原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇に加えて、消費者の節約志向の動きが引き続き強く推移したことにより、依然として先行きの不透明感が残る状況となりました。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高12,131百万円、営業利益248百万円、経常利益263百万円、四半期純利益は69百万円となりました。

なお、当社は前期において決算期を変更（12月31日を3月31日）しております。これに伴い、平成26年3月期第3四半期（4月から12月）は、比較対象となる平成25年3月期第3四半期（1月から9月）と月度が異なることから、文中の前年同四半期比の記載は行っておりません。

各セグメントの概況は以下の通りです。

外食事業

外食事業を営む家族亭の当期の業績は、売上高6,306百万円、セグメント利益（営業利益）は186百万円となりました。

主な取り組みとして、夏商戦での「特別天ざる」の打ち出し強化や今年話題となった「うなぎ」メニューの展開に引き続き、秋冬商戦においても積極的な売上確保策を講じました。

秋の新そばが出る時期に合わせ、「新そばフェア」を実施し、『家族亭』創業当時の看板メニュー「三宝そば（十割そば）」を「味わい三宝そば」として期間限定で提供し、馴染みのお客様だけでなく新規のお客様にもご好評いただきました。また、近年増えつつある女性顧客の夜の食事需要に応えるため、野菜をたくさん使ったヘルシーメニュー「よる鍋セット」を展開し、好調に推移いたしました。

また、本部における各店舗の管理・営業推進体制を地域別から立地タイプ別（都心駅施設、郊外駅前施設など）に見直し、各タイプ別にきめ細かい販促策や好調なメニューの水平展開を行うなど、立地タイプの特性に応じた施策を実施いたしました。

国内の営業網の整備については、直営店舗として出店5店（FCからの移行を含む）、閉店7店（FC化に伴う閉店を含む）により102店舗となりました。また、FC店舗は出店が1店、直営店舗からの移行が2店、直営店舗への移行が3店、閉店が4店あったことにより94店舗になりました。海外店舗は出店2店、閉店4店、事業譲渡4店により12店舗となりました。

この結果、当第3四半期末の店舗数は、直営102店、FC106店（海外FC店含む）、提携店舗5店と前期末より13店舗減少し、合計213店舗となりました。

製造事業

製造事業の当期の業績は、売上高5,825百万円、セグメント利益（営業利益）61百万円となりました。

中野食品株式会社においては、大口取引先の店舗数減少や収益性の低いチルド麺の取引を中断したことによる売上の落ち込みをカバーするため、成長が見込まれる調理麺について新商品の開発や積極的な商品提案を行うことで徐々に取引量が増加し、回復傾向にあるものの、円安等による原材料価格やエネルギーコストの高騰の影響により製造コストが増加し、営業利益は減益となりました。

また、寿製麺株式会社においても、調理麺の強化により取引量が増加し、売上高は好調に推移いたしました。また、原材料価格やエネルギーコストの高騰、労務費等の製造コストの増加により営業損益は減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は9,993百万円となり、前連結会計年度末に比べ333百万円減少しました。これは主に、借入金返済等に伴い現金及び預金が314百万円減少したことによるものです。

負債合計は6,622百万円となり、前連結会計年度末から332百万円減少しました。これは主に、短期借入金及び長期借入金(1年内返済長期借入金を含む)が返済により709百万円減少した一方で、季節要因による仕入増加に伴い支払手形及び買掛金が345百万円と未払金が68百万円増加したことによるものです。

また、純資産は3,370百万円と前連結会計年度末から0百万円減少しました。これは主に、四半期純利益69百万円の計上及び配当金70百万円の支払等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月25日に公表いたしました平成26年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	999,537	685,350
受取手形及び売掛金	1,375,944	1,545,833
商品及び製品	52,932	39,899
原材料及び貯蔵品	219,214	371,625
繰延税金資産	74,846	38,870
未収入金	183,223	128,789
その他	113,543	123,238
貸倒引当金	2,292	2,926
流動資産合計	3,016,949	2,930,680
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,418,191	2,368,184
機械装置及び運搬具（純額）	470,589	464,383
工具、器具及び備品（純額）	91,759	93,511
土地	1,499,406	1,499,406
リース資産（純額）	59,564	46,134
建設仮勘定	1,975	-
有形固定資産合計	4,541,486	4,471,620
無形固定資産		
のれん	180,293	146,077
リース資産	6,912	4,213
その他	145,372	146,461
無形固定資産合計	332,578	296,752
投資その他の資産		
投資有価証券	107,304	90,695
関係会社出資金	4,485	489
長期貸付金	59,822	58,896
繰延税金資産	266,482	243,326
敷金及び保証金	1,961,305	1,893,531
その他	129,371	106,814
貸倒引当金	92,848	99,185
投資その他の資産合計	2,435,926	2,294,568
固定資産合計	7,309,990	7,062,941
資産合計	10,326,940	9,993,621

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	988,972	1,334,933
短期借入金	1,152,703	1,192,983
1年内返済予定の長期借入金	688,158	614,406
1年内償還予定の社債	34,960	17,040
リース債務	22,406	18,135
賞与引当金	41,375	10,734
未払金	724,778	793,682
未払費用	207,910	265,098
未払法人税等	30,813	64,244
預り金	52,841	50,559
資産除去債務	32,775	24,055
その他	109,163	29,963
流動負債合計	4,086,857	4,415,836
固定負債		
長期借入金	2,266,659	1,591,042
リース債務	46,977	34,523
繰延税金負債	18,634	18,634
再評価に係る繰延税金負債	50,196	50,196
退職給付引当金	220,320	245,787
役員退職慰労引当金	27,117	36,544
長期預り保証金	155,464	148,940
資産除去債務	82,761	81,133
その他	38	-
固定負債合計	2,868,169	2,206,803
負債合計	6,955,027	6,622,639
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,465,784	1,465,784
資本剰余金	1,425,506	1,425,506
利益剰余金	800,763	800,367
自己株式	13,954	13,954
株主資本合計	3,678,099	3,677,703
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,015	10,416
土地再評価差額金	317,292	317,292
為替換算調整勘定	5,908	2,356
その他の包括利益累計額合計	309,186	309,232
少数株主持分	2,999	2,510
純資産合計	3,371,913	3,370,981
負債純資産合計	10,326,940	9,993,621

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成24年1月1日 至平成24年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）
売上高	12,152,690	12,131,431
売上原価	9,865,913	9,947,796
売上総利益	2,286,777	2,183,635
販売費及び一般管理費	1,919,863	1,935,179
営業利益	366,913	248,455
営業外収益		
受取利息	1,990	2,119
受取配当金	1,831	2,573
不動産賃貸料	84,635	89,198
その他	12,453	14,166
営業外収益合計	100,911	108,058
営業外費用		
支払利息	38,355	33,810
不動産賃貸費用	34,098	31,199
持分法による投資損失	8,284	4,647
その他	19,231	22,926
営業外費用合計	99,969	92,584
経常利益	367,855	263,930
特別利益		
投資有価証券売却益	-	22,330
特別利益合計	-	22,330
特別損失		
固定資産廃棄損	22,222	14,739
固定資産売却損	551	-
関係会社投資等損失	19,705	-
店舗閉鎖損失	-	12,554
減損損失	-	24,621
合併事業撤退損失	-	21,133
その他	18,677	-
特別損失合計	61,157	73,048
税金等調整前四半期純利益	306,697	213,211
法人税、住民税及び事業税	218,955	52,985
法人税等調整額	8,548	91,205
法人税等合計	210,407	144,191
少数株主損益調整前四半期純利益	96,290	69,020
少数株主損失（ ）	4,063	892
四半期純利益	100,354	69,912

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成24年1月1日 至平成24年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	96,290	69,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,025	3,598
為替換算調整勘定	322	3,303
持分法適用会社に対する持分相当額	-	651
その他の包括利益合計	2,347	356
四半期包括利益	98,638	69,376
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	102,702	69,866
少数株主に係る四半期包括利益	4,063	489

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	外食事業	製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,306,216	5,825,215	12,131,431	-	12,131,431
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,787	71,635	89,422	89,422	-
計	6,324,003	5,896,851	12,220,854	89,422	12,131,431
セグメント利益	186,968	61,486	248,455	-	248,455